

岩手県 公立高校の入試制度

【2025年度版】

選抜概要

●岩手県の公立高校入試（全日制）は、2025年度入試より、推薦・一般の2回選抜制から、一次募集（一般入学者選抜・特色入学者選抜）に変更されます。

この変更により、1月下旬（推薦）と3月上旬（一般）に行われていた試験を3月上旬に1日又は2日間を実施します。

●通学区は以下の8学区です。
盛岡学区、岩手中部学区、胆江学区
両磐学区、気仙・釜石学区
宮古学区、久慈学区、二戸学区

●出願は、原則1校に限ります。
普通科・理数科・地域探究科は学区内の高校に出願できます。
その他の学科及び普通科の一部の専門学系・コースは全県で出願可能です。
また、普通科・理数科も含め、推薦選抜・二次募集には学区制限がありません。

第一次募集	日程（案）
出願期間	2/5(水)～12(水)
志願変更	2/14(金)～20(木)
※特色一次選考実施公表	2/21(金)
※特色一次選考結果通知	2/28(金)
入試日	3/5(水)・6(木)
合格発表日	3/14(金)

特色選抜

●特色選抜は、部活動等の実績ではなく、受検生が日常的な学習や活動で身につけた多様な資質・能力について検査を実施して評価するものです。

各学校から「特色入学者選抜において求める生徒像」が発表されますので、志願先のそれらを参考にして出願します。中学校長の推薦は不要です。

なお、一般選抜において、第1志望で出願する学校・学科（学系）にのみ出願可能です。
特色選抜のみの出願はできません。

●募集人員は以下の通りです。

- ①普通科、普通・理数科、地域探究科…10%以内
- ②スポーツ科学学系、スポーツ健康科学学系及び芸術学術系…50%以内
- ③その他の学科…20%以内

●検査内容

- ・調査書
- ・志願理由書
- ・学校独自検査

[面接・小論文・作文・実技・口頭試問・プレゼンテーション等のうち1～2項目程度を実施]

●上記の検査内容を用いて、各学科の特色に配慮しながら、その教育に必要とされる資質・能力や適性等を総合的に判定します。

なお、志願者が多い場合は、調査書及び志願理由書により一次選考を行う（日程は上記表の※の部分）ことがあります。

一般選抜

- 募集人員は募集定員から特色選抜の合格者数を減じた人数となります。
また、特定の期間内であれば1回に限り、志願校を変更することができます。

一般選抜においては、志願先高校に2つ以上の学科（学系・コース）がある場合には、第2・3志望まで出願することができます。ただし第1志望の学科（学系）とは検査内容が異なる課程、学科（学系）への出願は第2志望までです。

●検査内容

①学力検査 国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各100点） …合計500点	1000点～ 1100点
②調査書 「各教科の学習の記録」の9科の評定（3年間）…合計500点 $1\text{年生（国・数・英・理・社の評定} \times 2） + （音・美・保体・技家の評定} \times 3） = 110\text{点}$ $2\text{年生（国・数・英・理・社の評定} \times 4） + （音・美・保体・技家の評定} \times 6） = 220\text{点}$ $3\text{年生（国・数・英・理・社の評定} \times 6） + （音・美・保体・技家の評定} \times 9） = 330\text{点}$ 計660点を500点に換算	
③学校独自検査 面接・小論文・作文・実技のうち1～2項目程度を実施…0～100点 ・2023年まで一律受験だった面接は学校独自検査になりました。 面接を実施するか否かは各学校により決定されます。	

- 選抜は、各学科（学系・コース）の特色に配慮しながら、その教育において必要とされる能力・適性等を総合的に判定します。

・学力検査の成績と調査書の学習の記録の比率は、7：3～3：7のいずれかより、各学校が決定。

・募集定員が第1志望の受験者で充足しない場合は第2志望者から、第1・2志望者でも充足しない場合は第3希望者から選抜。

選抜補足

- 特色選抜と一般選抜の両方を実施する場合、選抜（合格者決定）は特色→一般の順に行います。
- また、入試日程を2日間で実施する際は、下記のスケジュールで実施します。
【1日目】一般入試の学力検査
【2日目】一般入試の学校独自検査、特色入試の検査